

# 令和2年度

団体名	特定非営利活動法人 キーデザイン	とちぎカメラ部	未来創造ネットワーク白鷗
所在地	宇都宮市	宇都宮市	小山市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:91,413円) 【構成員】 代表:土橋優平</p> <p>【事業名】 不登校に悩むお母さんお父さんの無料LINE相談窓口「お母さんのほけんしつ」</p> <p>【事業目的・実績】 ○子どもの不登校に悩む保護者を対照に、無料で制限なしのLINE相談窓口を開設し、悩みや困りごとの解決を図る。また、相談から次の一歩となるフリースクールや親の会等へのつながりづくりを行う。</p> <p>・LINEオフィシャルアカウントにて相談窓口「おかあさんのほけんしつ」を開設(R2.5.25～)した。 ・友だち登録数390件、130名以上の相談を受付 ・相談後に支援団体へのつながりや学習サポートも行った、「ほけんしつのミニカード(名刺サイズ)」を作成・配布し、悩みをもつより多くの保護者やNPO団体、企業等へ周知を行った。</p> <p>【事業の効果】 ・相談業務により、辛い立場にある保護者の助けとなるとともに、家庭内だけでは解決できない問題に対するストレスの軽減につながった。 ・相談業務だけに止まらず、次につながる支援先との連携など、幅広い支援を行うことができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:91,137円) 【構成員】 代表:須賀未樹</p> <p>【事業名】 とちぎカメラ部</p> <p>【事業目的・実績】 ○栃木県の新しい魅力(人・団体・観光地・飲食店等)を積極的に発信し、地方創生を行う。</p> <p>・2月13日・14日:「charm in tochigi ～魅力を栃木で見つける～」 栃木県の魅力を発見する写真展(cafè ink blue2階レンタルスペース) 栃木県の魅力の発信と世代や団体を越えた交流がなされた。</p> <p>・ポストカード撮影・製作 日光にある2つの店舗を撮影した写真を使って、ポストカードを制作した。</p> <p>【事業の効果】 ・写真展 2日間で62名来場。 ・写真展を開催し、栃木県の魅力発信と世代間の交流が促進された。 ・ポストカード作成にあたって、日光市内の店舗に協力を依頼し、事業者と連携した取組を行うことができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:68,379円) 【構成員】 代表:中村永遠</p> <p>【事業名】 小山まちなか調査隊</p> <p>【事業目的・実績】 ○小山市の小学生に、地域の歴史や伝統に対する魅力を再発見してもらい、小山市に対する愛郷心を育む。</p> <p>・12月19日(土):フィールドワーク 市民活動センターおやま～ 小山駅西口の11店舗 ・2月14日(日):下野人形づくり</p> <p>【事業の効果】 ・小山市内でのフィールドワークにおいて、小山駅西口11店舗に協力を依頼し、インタビューや体験活動を行うことで、地域理解が深まった。 ・伝統工芸品制作体験では、小山市の無形文化財に指定されている下野人形づくりを行い、伝統文化②親しみ、市の魅力の再発見につながった。</p>

団体名	NPO法人 シェアハッピーエール	栃木きょうだい会	とちぎ高校生蔵部OBOG会(R1～)
所在地	宇都宮市	那須塩原市	栃木市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:円) 【構成員】 代表:渡邊優那</p> <p>【事業名】 ゲーム体験とお絵かきを通して学ぶ「小学生にもわかるSDGs」</p> <p>【事業目的・実績】 ○小学生がSDGsについて学び、「分かち合うことの大切さ」について理解を深めることを目的とし、子どもたちにとって、親和性の高いコンテンツを使った啓発を行う。</p> <p>・7月～2月までに県内小中学校やフリースクールでワークショップの実施や小冊子を配付 ・マイクラフトを用いて分かち合う世界と奪い合う世界を再現し、それらをYouTubeで発信。 ・県内の小中学校やフリースクールで持続可能な世界の実現について体験できるボードゲーム「Get The Point」を使ったワークショップを実施。 ・啓発資料として小冊子「楽しく学べる！SDGs」を作成して、協力を得た県内小中学校や地区市民センターに設置。</p> <p>【事業の効果】 ・ワークショップや啓発資料等を有効に活用し、参加した子どもたちのSDGsへの理解が深まった。</p>	<p>(短期/事業規模:92,754円) 【構成員】 代表:仲田海人</p> <p>【事業名】 ケアラーたちが思う人生観を共有するシンポジウム</p> <p>【事業目的・実績】 ○様々な立場のケアラー(高齢・身体上、精神上の障がいまたは疾病等により援助を必要とする親族友人等の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上等の援助を行っている人)が集い、家族それぞれが自分らしい人生を送るためにはどうすればよいかを様々な切り口で考えるためのシンポジウムを開催する。</p> <p>・12月30日～1月31日(オンライン公開) ・事前に撮影した動画に字幕をつけ、YouTubeで視聴できるように設定。 ・アンケート用の入力フォームの作成。</p> <p>【事業の効果】 ・視聴者数 640名、アンケート回答者50名 ・親やきょうだいの立場など、さまざまな視聴者を想定した内容にすることで、ケアラーが抱える悩みや課題を広く発信し、当事者以外のケアラーへの理解を促したり、当事者へ専門的見地からの助言を得る機会を設けたりする場を提供した。</p>	<p>(中・長期/事業規模:89,793円) 【構成員】 代表:清水慶也</p> <p>【事業名】 Harry Pottyaryと非密の部屋掃除</p> <p>【事業目的・実績】 ○現代の清掃ではなかなか使用されていない栃木市の伝統工芸品である都賀の座敷蓐を、清掃に使用し、伝統を後世につないでいくために、現代に合った使用法を考え、SNS等で発信していく。</p> <p>・9月2日(水):ホウキモロコシの収穫(ぬい農園) ・9月19日(土):湯通し・脱穀(ぬい農園) (栃木農業高校) ・10月17日(土):ホウキモロコシの種の収穫(同上) ・10月18日(日):蓐職人による蓐作りの指導 ・11月7日(土):蓐作り①(パーラートチギ) ・11月22日(日):蓐作り職人による指導 ・12月13日(日):蓐作り②(パーラートチギ) ・1月9日(土):動画作成(パーラートチギ)</p> <p>【事業の効果】 ・蓐の原材料となるホウキモロコシの栽培・収穫したり、蓐職人の指導の下で制作したりすることで伝統工芸に対する理解を深めることができた。 ・栃木農業高校農業環境部や農園経営者の指導協力を得ながら連携した取組ができた。 ・InstagramとTwitterでの動画配信により、都賀の座敷蓐の魅力をより多くの若者に発信できた。</p>